

第 62 回数理社会学会大会

ワンステップアップ・セミナーのご案内

第 62 回数理社会学会大会 2 日目午後の 8 月 28 日 (日) に、ワンステップアップ・セミナーを下記の要領で開催します。神林博史会員を講師とし、統計学教育について考えます。会員・非会員を問わずどなたでも参加できますので、奮ってご参加ください。

1. 題目

統計学・計量社会学をどう教えるか：よりよい統計学教育をめざして

2. 講師

神林博史 (東北学院大学教養学部教授)

3. 日時

2016 年 8 月 28 日 (日) 13:00~15:00

4. 会場

金沢大学角間キャンパス人間社会第 1 講義棟 201 室

5. 内容

近年、学術・実務の両面において、統計学の重要性はますます高まっています。その一方で、文系大学生を対象とする統計学教育には、様々な問題が存在します。このセミナーでは、統計学教育に携わっている会員、あるいはこれから携わることになる若手会員を対象に、統計学教育（特に、社会学における統計学・計量社会学の教育）において生じる具体的な問題・疑問の検討を通じて、よりよい教育のありかたについて考えます。

といっても、講師は統計学の大家でもなければ、「こうすれば大丈夫」という完璧な処方箋を持ってはいるわけではありません。参加者の皆様との意見交換・情報交換を通じて、問題の共有と改善のヒントを探したいと思います。

6. 目標

よりよい統計学教育・計量社会学教育の方法について、ある程度の共通理解を得る。

7. 扱う項目

こちらで用意するトピックの他、参加者の皆様からのリクエストに応じてセミナーの内容を決定します。現在のトピック案は以下の通りです。

○基礎教育編：「統計の諸技法の数学的な側面にどこまで立ち入る？」、「確率論にどこまで立ち入る？」、「単なる座学と統計ソフトの併用、どっちがいい？」、「教育目的で考えたとき、統計ソフトはどれがお薦め？」等

○応用教育編：「中級レベル以上の技法について何を・どこまで教える？」、「計量経済学・計量心理学など、他領域の統計技法との関係をどう考える？」、「計量社会学のアイデンティティって何？」等

○これからの教育編：「p値至上主義から脱却すべき！っていう動向にどう対応する？」、「ベイズ統計って重要なの？どう教えればいいの？」、「ビッグデータ分析を教育に取り入れる必要はある？」等

8. テキスト

なし。当日資料を配付する予定。

9. 参加費

無料

10. 定員

特になし。

11. 参加資格

会員・非会員を問わず、どなたでも参加できます。

12. 申し込み

電子メールで第62回大会申込専用アドレスまでお申し込みください。jams62entry[at]gmail.com ([at]はアットマーク)。

タイトルを「JAMS62セミナー申込（お名前）」として、本文に「1 氏名」「2 所属と職名（学年）」「3 会員・非会員の別」「4 このセミナーで得たいこと・セミナーで取り上げてほしいトピック」をご記入のうえ、2016年8月19日（金）までにお送りください。

13. 留意事項

このセミナーにおける講師の主な役割は、話題提供および議論の交通整理です。参加者の皆様の積極的な発言・問題提起・情報提供をよろしくお願ひいたします。